

電力融通システム

HS-Power Sharing System

BMS と電力融通システムの融合

オフィスビルにおけるカーボンニュートラル

政府の「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に基づき、オフィスビルにおいて、EV充電設備の設置が求められる一方、EV充電による電力負荷が急激に集中する課題に対して、ビル内の系統負荷に対する平準化も求められます。

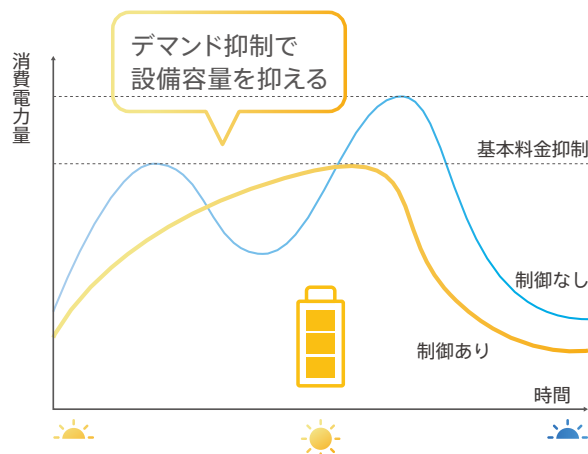
これらの課題に対して、ネットワーク・コーポレーション社のコネクティビティに優れたモジュール型のビル管理

システム“iNBIS”とヘッドスプリングの電力融通システム“HS-Power Sharing System”を連携させ、ビル内の各種電気設備の最適運用による電力消費の削減と同時に蓄電池を用いた電力のピークシフトを行い、電気料金低減とカーボンニュートラルに貢献する次世代ビルエネルギーマネジメントシステムを提供します。

BMS と電力融通システム (HS-Power Sharing System) の融合

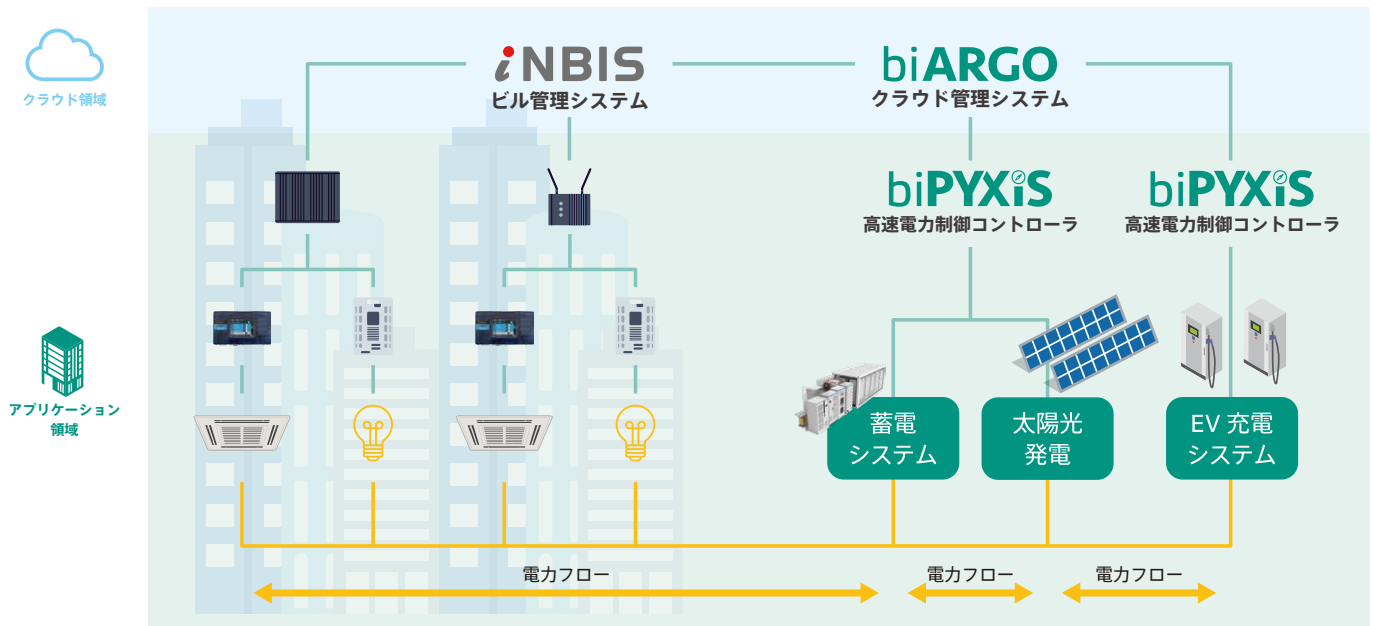
ZEB 実現のために太陽光発電を設置した場合、発電される電力は時刻によって変動し、ビル内の電力需要のパターンと一致しないため、蓄電システムを併設して電力需要に合わせて充放電することが重要です。

ネットワーク・コーポレーション社のiNBIS”とヘッドスプリングの電力融通システム“HS-Power Sharing System”を連携させることで、照明や空調の動作状況に合わせて太陽光発電や蓄電システムを最適運用し、ZEB 実現に貢献します。



EV急速充電器のような大容量負荷に対しても、高速リアルタイム制御

ヘッドスプリングの電力融通システム (HS-Power Sharing System) は、規模や個別事情に合わせて、蓄電システム・EV充電器・太陽光発電を自由に組み合わせて相互に電力を融通できる新しいエネルギーマネジメントシステムです。



HS-Power Sharing System の特徴

- 蓄電システム、太陽光発電システム、EV 充電システムを必要に応じて任意に組み合わせて最適運用可能
- iNBIS との連携運用により受電電力を最小化して電気料金を削減
- EV 充電器に対してもデマンド制御を適用し契約電力の増大を抑制、多数台設置にも対応
- EV 急速充電器と蓄電池の統合運用により充電時の受電電力の変動を抑制し、急速充電と契約電力抑制を両立可能
- 停電時には非常用電源としても運用可能
- 分散配置により設置スペース確保

biARGO | クラウド管理システム

機能をブロック化し機械学習を搭載することにより、様々なビジネスに対して柔軟に適用可能なプラットフォームを実現

biPYXiS | 高速電力制御コントローラ

パワーエレクトロニクス機器で培った高速制御技術「Real-Time Stabilizer」を搭載し、安定かつ高度な電力制御（数十ミリ秒のリアルタイム電力制御）を実現

RealTime
Stabilizer